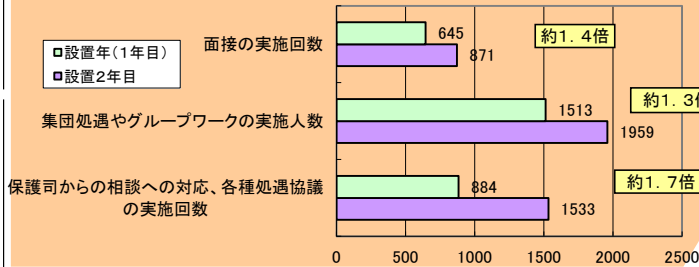


更生保護サポートセンターの実績と効果

設置21地区の実績

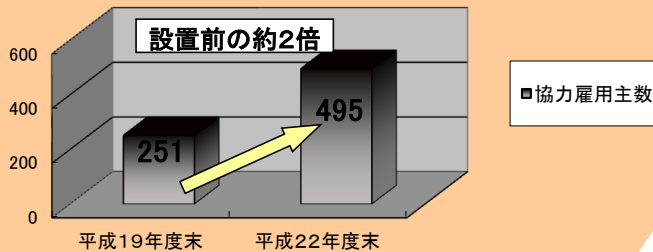
★保護観察処遇等支援体制の構築

- 保護司からの処遇相談への対応、共犯担当保護司による処遇協議
- 保護観察対象者やその家族等との面接の実施
- 集団処遇・グループワークの実施

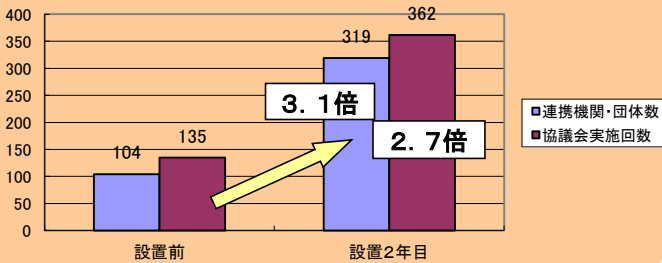


★協力雇用主数の大幅増

(参考) 平成19年度末→平成22年度末の全国平均伸び率は1.4倍



★新たな関係機関との連携や協議会実施回数が増



地域の関係機関と連携したる 個々の保護司の処遇を支える

具体的な効果

★保護観察処遇の充実・強化

○「良好措置率(保護観察を良好な状態で終了する者の比率)」

→ 平成22年 **38.3%**

全国平均より **2.9ポイント** 高い
(全国平均 **35.4%**)

○保護観察終了者に占める無職者の割合

→ 平22年 **20.1%**

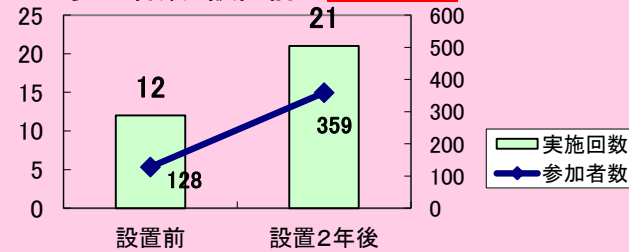
(全国平均 **23.3%**)

○社会参加活動の実施回数・参加者数の大幅増

(設置前と設置2年後を比較)

実施回数 設置前の **175%増**

参加者数 設置前の **280%増**



★保護司会の支援の充実による保護司確保

○平22年度に退任した委嘱5年未満保護司数

→ 平21年度と比べ、**25%の減少**

○平22年度の新任保護司数 **前年比109.2%**

再犯を防止し立ち直りを促進するためにはサポートセンターの設置拡充が必要

現在

55か所に設置
企画調整保護司
1名常駐

平成24年度

設置拡充

○155か所設置
(100か所増)

○企画調整保護司
1.5名常駐
(0.5名増)